



日本酒の仕込みを見学

2月28日と3月1日の2日間、「日本酒のうんちくを学ぶ」体験ツアーが、あきた白神体験センター主催で行われ、参加者は酒蔵見学や試飲などで日本酒を勉強しました。

はじめに、「白瀑」を製造している山本合名会社の仕込み現場を見学。同社常務であり杜氏も努める山本友文さんから、「こだわり」の酒造りについて説明を受けました。

その後、本館地区の「夕映の館」でそば打ちを体験したほか、山本さんを講師に日本酒の勉強会が行われました。参加者は、日本酒の味比べなどをしながら熱心に聞き入っていました。「うんちく」を学んでいました。

早くも舌で
日本酒のうんちくを学ぶ



白熱したラリーを展開

八峰町卓球協会主催の第3回全町卓球大会が2月15日、峰浜中学校体育館で行われ、町内外からたくさんの方が参加しました。

大会は1部と2部に分かれ、個人戦や団体戦、ダブルスで行われました。どの試合も白熱したラリーが展開されました。

大会の結果は次のとおりです。

- 1部 団体優勝 ザ・マッカラン18 シングルス優勝 工藤隆志
- 2部 団体優勝 ポストンクラブ シングルス優勝 清橋彩香
- 3部 シングルス優勝 納谷侑幸

●小学生の部
シングルス優勝 成田香菜

白熱した試合に心地よい汗
**好プレーが続出した
「第3回全町卓球大会」**

2月27日、観海小学校で子ども園児と小学生の交流として、少し早い、ひな祭り会が開催されました。

これは4月に新1年生になる観海子ども園の年長さんが、安心して入学を迎えられるようにと実施されたものです。

1年前まで、同じ子ども園の仲間同士ということもあって、読み聞かせやゲーム、おやつタイムなどの催しで、大変盛り上がりしていました。最後はおひな様の前で、みんな仲良く写真を撮りました。

4月の入学式が楽しみですね。



ひな壇の前で仲良く記念撮影

子ども園児と観海小1年生がひな祭り交流会

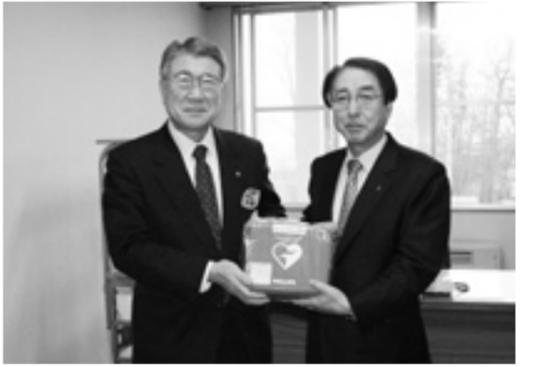
毎年恒例の行事、船霊（ふなだま）祭りが2月10日、八森山岩館両漁港で行われ、関係者が神事に挑んだほか、両漁港ではたくさんの大漁旗が色鮮やかにたためきました。

秋田県漁業協同組合北部総括支所で行われた祈願祭では、船主や乗組員らが出席。神前に玉ぐしを奉納して海の恵みに感謝するとともに、今年も豊漁、無事故であるように祈りました。



たくさんの大漁旗がはためきました

漁船が大漁旗が揚げられました
**今年も豊漁・安全を
祈願して「船霊祭」**



ありがとうございました

能代山本医師会(三田重人会長)が、住民の緊急時に役立ててもらおうと、AED(自動体外式除細動器)を町へ寄贈しました。

3月6日、同会の会長室で行われた贈呈式では、根本大輔副会長から手渡された加藤町長が「ありがとうございます。助かる命を救うため有効に活用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

今回寄贈されたAEDは、この春開校する八森小学校に配置され、子どもたちの緊急時の備えとするほか、使い方の講習会を実施しながら活用していきます。

本当にありがとうございます。

助かる命を救うため
**能代山本医師会が
AED寄贈**



楽しみながら体験しました

3月12日、ファガスで育児サークル「しらかみキッズ」の参加者がリトミック体験をしました。

リトミックとは、頭の中だけで音楽を学ぶのではなく、音楽を体全体で表現しながら、音感やリズム感、感性を育てていく音楽教育です。

リトミック研究センターの工藤絵里奈さんを先生に、音楽に合わせて「こあいさつ」や「お散歩」、布を使った遊びなどを行いました。

参加したお母さんと子どもたちはとても楽しそうに、音楽と一緒に楽しい思い出も体にしみ込ませていたようでした。

音楽と歌に合わせて
**リトミック体験を
楽しみました**

3月3日、八森庁舎大会議室で定住促進を探る講演会が開催され、約20人が聴講しました。

町では、人口減少の対策として定住促進を進めて行こうと、各種団体や一般住民らで構成された「定住対策懇談会」を今年度から設立。都会から定住に向けての意見交換や空き家情報の公開などを行っています。

この日は、NPO法人ふるさと回帰支援センター(東京都)の利根川治夫さんの「ふるさと回帰運動の現在と今後の課題」と題した講演会を行い、「郷土料理は、その土地の人が作ったのが一番おいしい。」と、自らが首都圏で積極的にPRする重要性を強調。さらに、「町や民間が一体となって取り組むことは、移住者にとって心強く安心感を与える。」と語りました。



熱心に聴講しました

人口減少を食い止める
**定住対策懇談会が
開催されました**

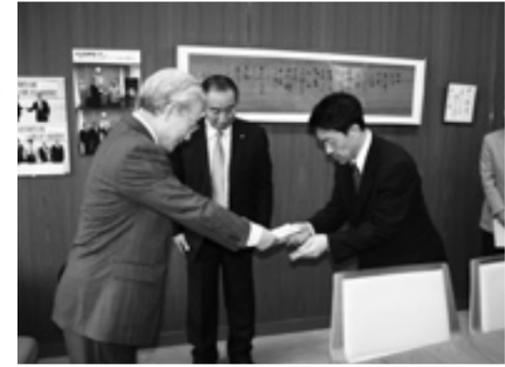
2月10日、社団法人能代法人会堀内正博会長から、町教育委員会に小学校の図書整備費の一部として図書券が贈られました。

同法人会では地域の社会貢献活動として地域の人材育成を目指そうと、毎年管内の学校や教育委員会に図書券の寄贈を行っています。

この日は同法人会八森支部の森田支部長と白神八峰商工会の大森会長らが教育長室を訪れ、千葉教育長に図書券を手渡しました。

千葉教育長は「辞書などを新しくして、学校の図書整備に使わせていただきます。」と述べました。

会員のみなさん本場にありがとうございました。



学校図書整備に活用します

小学校図書室充実へ
能代法人会が図書券を寄贈